

令和3年（2021年）11月

建設環境委員協議会資料

上下水道部上下水道総務室

上下水道部上水道室浄水課

案件

・中宮浄水場更新事業にかかる事業者選定について

1. 政策等の背景・目的及び効果

中宮浄水場については、将来にわたり安全・安心な水道水を安定的に供給できる浄水場へと更新するため、平成27年度から基本構想・基本設計に着手し、DBO方式を用いた更新事業に係る事業者選定を総合評価一般競争入札方式により進めてきました。

この度、上下水道事業管理者の附属機関である「中宮浄水場更新事業総合評価一般競争入札審査会」（以下「審査会」という。）から落札候補者の答申を受けたことから、選定の結果等について報告するものです。

2. 内容

(1) 事業名

中宮浄水場更新事業及び浄水施設運転維持管理業務等委託

(2) 事業期間

契約締結日から令和29年（2047年）3月（約25年間）

(3) 落札候補者

	企業名	担当業務
代表企業	メタウォーター株式会社 関西営業部	機械工事・電気工事・ 運転維持管理業務（代表）
構成企業	株式会社N J S 大阪総合事務所	設計業務
	株式会社 安藤・間 大阪支店	土木工事・建築工事
	メタウォーターサービス株式会社 事業推進本部 西日本営業部	運転維持管理業務
	総合警備保障株式会社 大阪東支社	運転維持管理業務（警備）

(4) 落札金額

25,398,000,000円（消費税抜き）

(5) 事業者からの提案内容及び審査会の選定結果の詳細について

① 事業者からの提案内容

資料1 「事業者の提案内容」のとおり

② 審査会の選定結果の詳細について

資料2 「落札候補者の選定結果及び講評」のとおり

3. 実施時期等

(1) 契約までのスケジュール

令和3年(2021年)11月 建設環境委員協議会で事業者選定結果の報告
落札者の正式決定・公表

令和3年(2021年)12月 12月補正予算提出予定(予算の組み換え)・議決後事業契約締結

(2) 事業スケジュール

事業契約締結後 ~令和5年(2023年)3月 詳細設計

令和5年(2023年)4月~令和9年(2027年)3月 更新工事

令和8年(2026年)4月~令和9年(2027年)3月 既施設設運転維持管理業務実施
試験運転、一部通水開始

令和9年(2027年)4月~令和29年(2047年)3月 全面運用開始、新第1浄水場含む運転
維持管理業務実施

4. 総合計画等における根拠・位置付け

(1) 総合計画

基本目標：安全で、利便性の高いまち

施策目標：1. 災害に対する備えができているまち

(2) 上下水道ビジョン

第5章 第2節 1. 水道施設・管路の計画的な更新・改良

5. 関係法令・条例等

水道法、地方公営企業法

枚方市PPP/PFI手法活用優先的検討の基本方針

6. 事業費・財源及びコスト

令和2年度（2020年度）当初予算 中宮浄水場更新事業費として30,000,000千円計上

（債務負担行為）

令和3年度（2021年度）12月補正予算提出予定の事業費

（令和2年度予算額に対し落札金額を反映し、下記の通り組み替え）

《事業費》 ①中宮浄水場更新事業及び浄水施設運転維持管理業務等委託（設計・建設工事）

令和4年度（2022年度）～令和8年度（2026年度） 継続費

15,750,000千円

②中宮浄水場更新事業及び浄水施設運転維持管理業務等委託

（浄水施設運転維持管理業務等委託）

令和8年度（2026年度）～令和28年度（2046年度） 債務負担行為

12,584,000千円

《財 源》	企業債	: 8,750,000千円	国庫補助金	: 457,500千円
	他会計出資金	: 2,350,000千円	建設改良積立金	: 3,000,000千円
	一般財源	: 13,776,500千円		

未来をひらく、信頼のかたち

～枚方市の新たな水道の未来と、信頼され続ける水道を「かたち」に～

Concept①

安全・安心
・安定

実績・実験・経験に基づいた「安全・安心・安定の水づくり」

Concept②

持続

枚方市の新たな水道が信頼され続けるために「将来に
わたり貴市と共に技術力研鑽と技術継承を継続的に実施」

Concept③

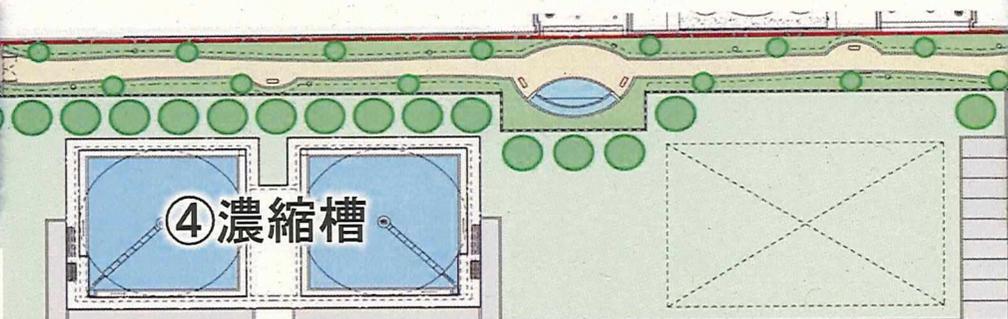
満足

貴市ならびに地域のみなさまに満足いただける浄水場を目指します

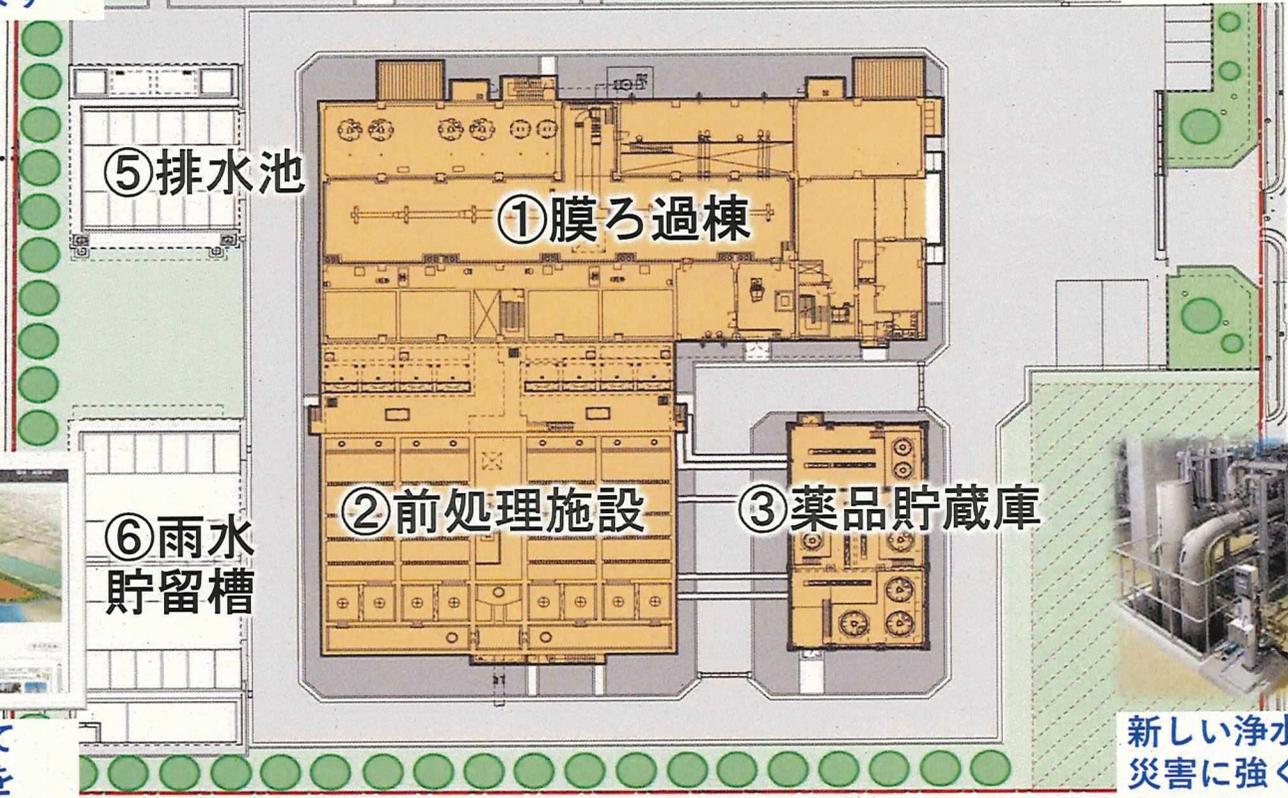
1. 配置計画



地球環境に配慮した
浄水場を建設します



地域のみなさまへ
憩いの場を創出します

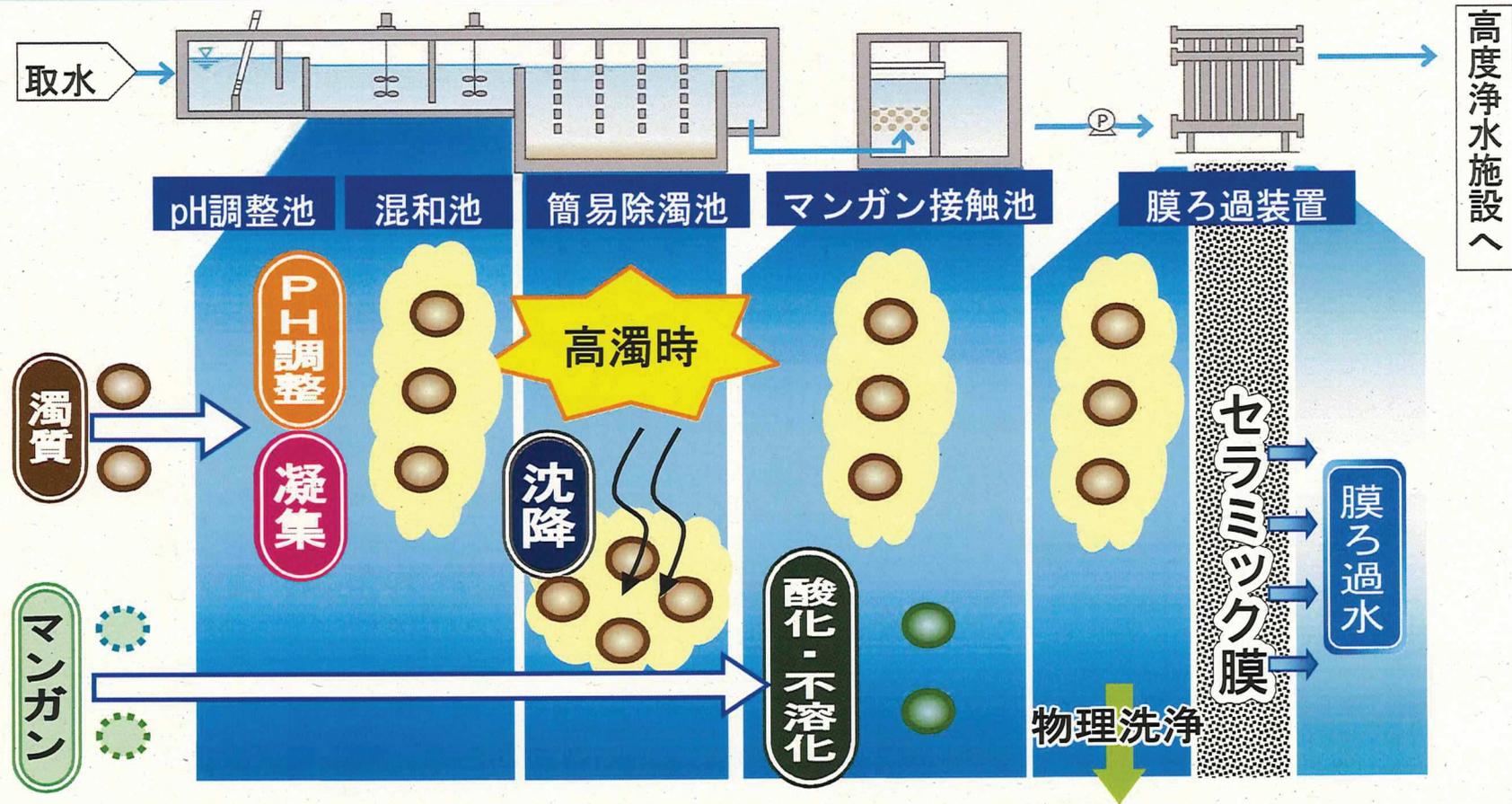


ホームページにて
工事の進捗状況を
発信します



新しい浄水方式で
災害に強く、おいしい
水を造ります

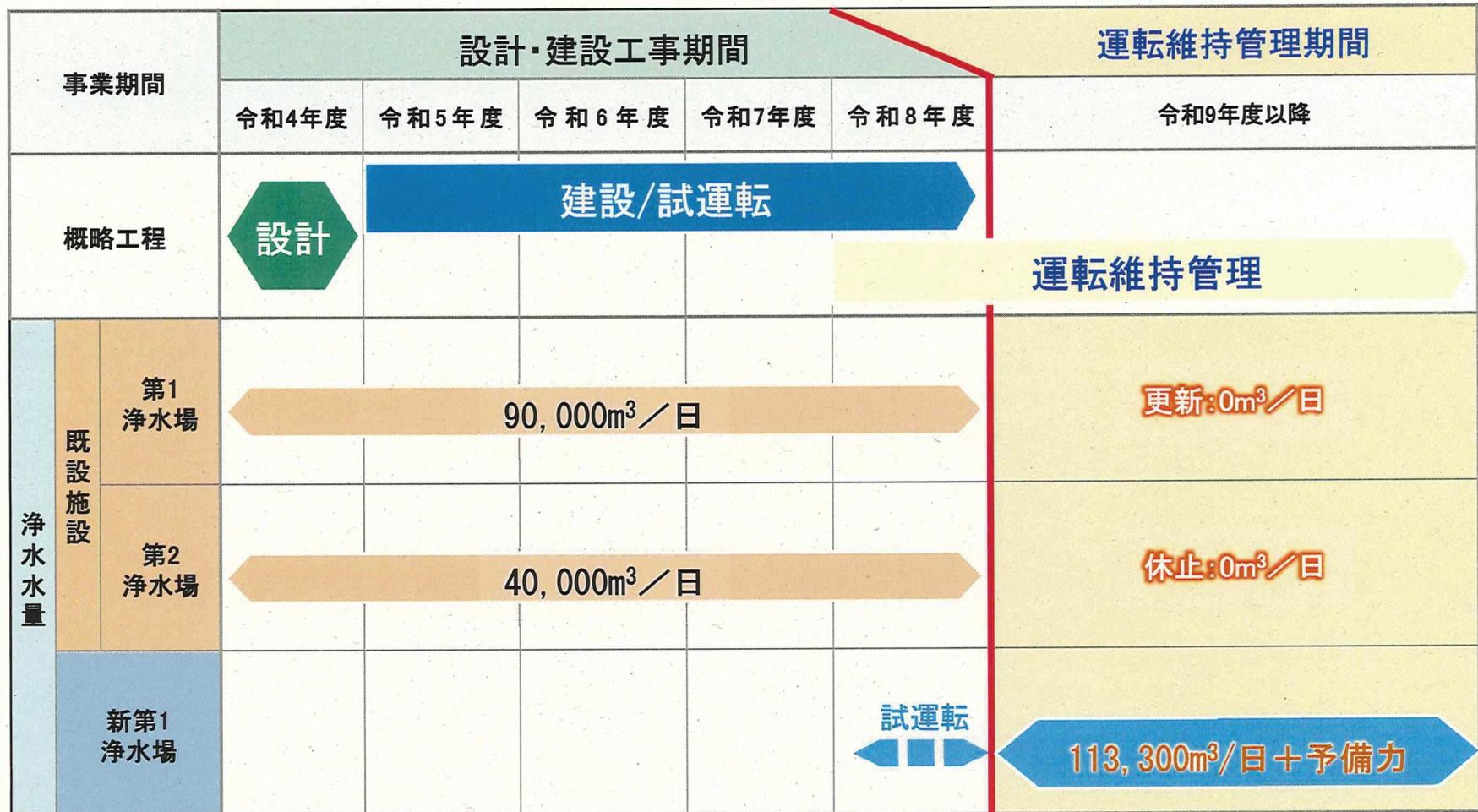
2. 淀川原水に最適な浄水フロー



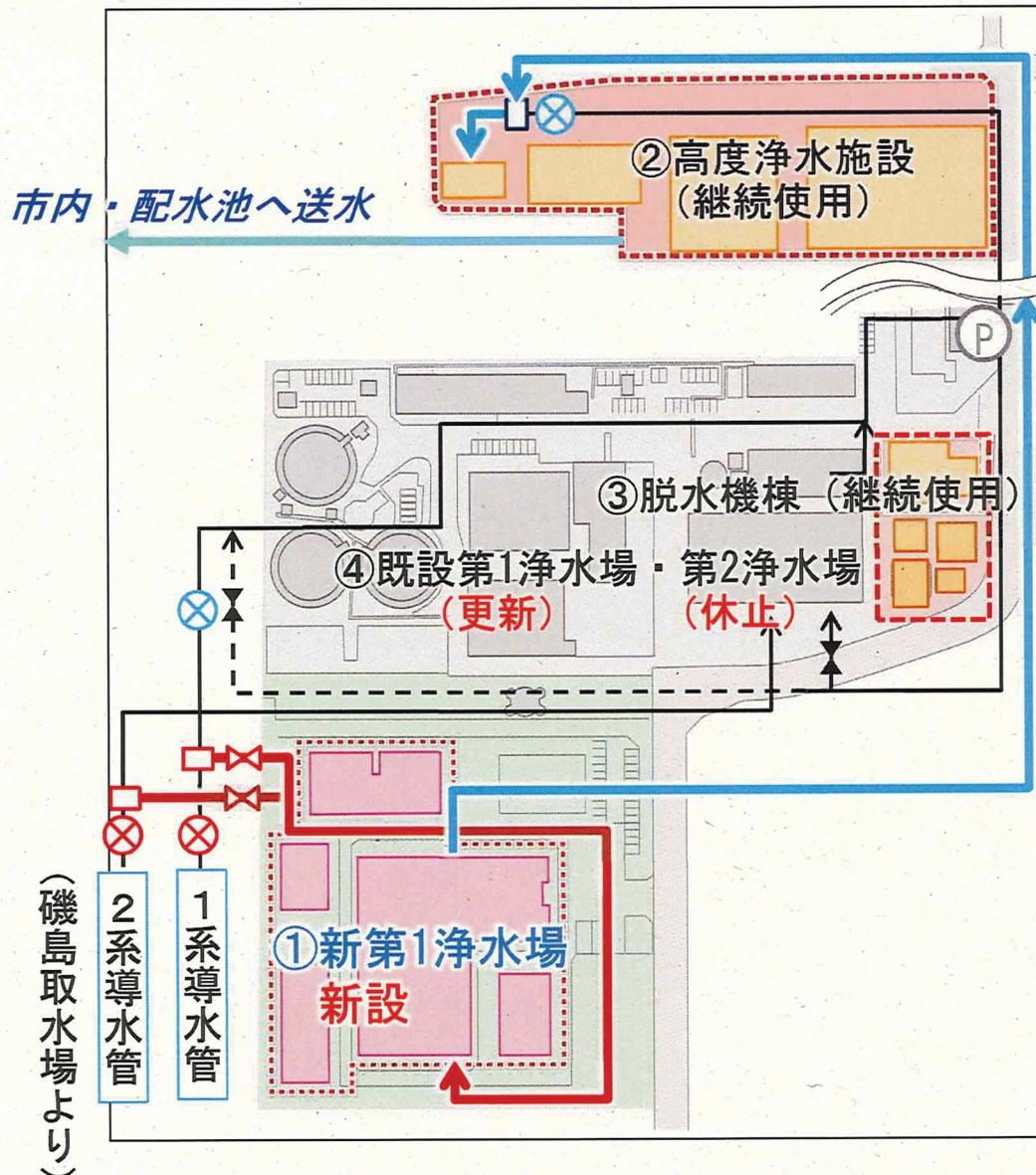
<浄水処理フロー選定のポイント>

- ① pH変動時のアルミニウム漏洩対応
- ② 除マンガン処理の計画
- ③ 高濁時の安定運転 (最高濁度1000度)
- ④ セラミック膜による確実な処理

3. 工事計画（工程）



4. 工事計画（切替計画）



- ① 現浄水場の南側敷地に新第1浄水場を建設します
- ② 新第1浄水場～高度浄水施設間はシールド工法にて配管を布設・接続します
- ③ 脱水設備は、継続活用します
- ④ 新第1浄水場完成後は現在の第1浄水場は更新、第2浄水場は運用を休止します

凡例

- : 不断水バルブ
- ⊗ : 不断水ストッパー
- : 原水送水配管
- : 膜ろ過水送水配管

中宮浄水場更新事業及び
浄水施設運転維持管理業務等委託

落札候補者の選定結果及び講評

令和 3 年 10 月 4 日

中宮浄水場更新事業総合評価一般競争入札審査会

中宮浄水場更新事業及び浄水施設運転維持管理業務等委託の総合評価一般競争入札に係る落札候補者について、当審査会における選定結果及び講評を提出いたします。

令和3年10月4日

中宮浄水場更新事業総合評価一般競争入札審査会

会長	笠原 伸介
副会長	山野 一弥
委員	村上 俊英
委員	高山 良子
委員	諸角 誠
委員	宮田 雅典

目 次

1. 事業者選定の体制及び開催結果.....	1
1-1. 事業名	1
1-2. 事業期間	1
1-3. 落札候補者選定の進め方	1
1-4. 中宮浄水場更新事業総合評価一般競争入札審査会.....	1
1-5. 審査会の選定経緯	2
2. 落札候補者の選定結果.....	3
2-1. 入札参加資格の審査	3
2-2. 入札書及び技術提案書の確認.....	3
2-3. 開札	3
2-4. 基礎審査	3
2-5. 提案内容の評価	3
2-6. 選定結果	6
3. 選定の総評.....	7
3-1. 個別評価の結果	7
3-2. 評価の総評	11

1. 事業者選定の体制及び開催結果

1-1. 事業名

中宮浄水場更新事業及び浄水施設運転維持管理業務等委託

1-2. 事業期間

- (1) 契約締結日 令和3年度(2021年度)中
- (2) 設計及び工事期間 着手日～令和9年(2027年)3月(約5年間)
- (3) 運転維持管理期間 令和8年(2026年)4月～令和29年(2047年)3月31日(21年間)

1-3. 落札候補者選定の進め方

落札者(事業者)の選定にあたっては、枚方市上下水道局が入札参加資格の審査を行い、その後に提出された入札書及び技術提案書に対して、開札及び基礎審査を実施する。その後、枚方市上下水道局が設置した学識経験者などで構成される中宮浄水場更新事業総合評価一般競争入札審査会(以下「審査会」という。)が、入札参加者から提出された提案書類及びプレゼンテーション・ヒアリングを基に、提案内容の評価を行うとともに、枚方市上下水道局が行う価格調査の結果も踏まえ落札候補者を選定し、上下水道事業管理者に報告する。

1-4. 中宮浄水場更新事業総合評価一般競争入札審査会

審査会の構成は、表 1.1 のとおりである。

表 1.1 審査会 委員

	氏名	所属名	備考
会長	笠原 伸介	大阪工業大学 工学部 教授	
副会長	宮内 潔	公益社団法人 日本水道協会 大阪支所長	～R2. 3. 31
	山野 一弥		R2. 4. 1～
委員	村上 俊英	近畿税理士会 枚方支部 税理士	
委員	高山 良子	大阪弁護士会 弁護士	
委員	中田 耕介	大阪広域水道企業団 村野浄水場長	～R2. 3. 31
	諸角 誠		R2. 4. 1～
委員	宮田 雅典	大阪市水道局 工務部 水質試験所長	

(敬称略)

1-5. 審査会の選定経緯

審査会の開催日と各回における選定内容は、表 1.2 のとおりである。

表 1.2 審査会の開催日と検討内容

回	開催日	検討内容
第1回	令和2年3月27日	・会長、副会長の選出 ・落札者決定基準、落札候補者の選定（諮問） など
第2回	令和2年8月13日	・落札者決定基準の決定（答申） ・技術評価の合議方法について など
第3回	令和3年8月31日	・プレゼンテーション及びヒアリング ・技術評価点の算出 ・価格評価点、総合評価点の算出 など
第4回	令和3年10月4日	・入札価格調査結果の審査 ・審査結果のまとめ ・落札候補者の選定（答申） など

2. 落札候補者の選定結果

2-1. 入札参加資格の審査

入札参加表明があった1者について、枚方市上下水道局は、代表企業、構成企業が入札説明書に示す入札参加資格の要件を満たしていることを確認した。

その後、提案書類の受付期間中に、受付記号Aのグループ(以下「Aグループ」という。)1者から入札書及び技術提案書の提出があった。

2-2. 入札書及び技術提案書の確認

枚方市上下水道局は、入札参加者に求めた入札書及び技術提案書がすべて揃っていることを確認した。

2-3. 開札

枚方市上下水道局は、入札参加者が提出した入札書に対して、予定価格の範囲内であることを確認した。

2-4. 基礎審査

枚方市上下水道局は、入札参加者が提出した技術提案書に記載されている事項に不備がないこと、業務要求水準書に定めた要求水準をすべて満たしていることを確認した。

2-5. 提案内容の評価

2-5-1. 技術評価点の算出

入札書及び技術提案書の確認、開札及び基礎審査の後、審査会は、入札参加者によるプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、技術提案書に記載された提案内容を基に、評価項目ごとに表 2.1 に示す5段階の評価基準によって技術評価点を算出した。

表 2.1 評価基準及び配点に対する係数

評価区分	評価基準	配点に対する係数
A	非常に優れている	配点×1.00
B	かなり優れている (C<B<A)	配点×0.75
C	優れている	配点×0.50
D	やや優れている (E<D<C)	配点×0.25
E	標準的である	配点×0.00

技術評価点の算出結果は、表 2.2 のとおりである。

表 2.2 技術評価点の算出結果

評価項目（大項目／中項目）	配点		得点	
1. 事業全体に関する事項				
1-1 事業計画	35	15	15.21	5.63
1-2 事業の安全性		20		9.58
2. 設計・施工に関する事項				
2-1 浄水施設設計に関する提案	80	27	25.27	14.17
2-2 電気設備設計に関する提案		10		2.67
2-3 土木建築施設設計に関する提案		13		2.80
2-4 施工に関する提案		25		5.21
2-5 工事監理に関する提案		5		0.42
3. 運転・維持管理に関する事項				
3-1 運転・維持管理業務の基本方針に関する提案	55	3	19.54	1.75
3-2 教育・訓練に関する提案		4		0.91
3-3 運転管理業務における提案		20		6.67
3-4 保守点検・修繕計画に関する提案		12		3.50
3-5 緊急時対応に関する提案		9		1.88
3-6 引き継ぎ業務における提案		2		1.08
3-7 設備台帳に関する提案		5		3.75
4. 地域貢献に関する事項				
4-1 地域経済・社会への貢献に関する提案	20	15	6.26	4.38
4-2 見学者対応に関する提案		5		1.88
5. その他提案	10	10	2.08	2.08
評価項目による技術評価点 合計点	200		68.36	

※落札者決定基準に基づき、技術評価点は小数点第2位までとした。

今回の提案に係る技術評価点 68.36 点については、配点 200 点に対する係数は 0.34（約 34%）であり、総合的に業務要求水準書に定める要求水準を上回る、評価区分 C（優れている）～D（やや優れている）に相当する提案であると評価した。

2-5-2. 価格評価点の算出

価格評価点は、次式により得点化を行った。

$$\text{価格評価点 (100 点満点)} \times (\text{最低入札価格} \div \text{入札価格})$$

今回、入札参加者が1者であるため、「最低入札価格」と「入札価格」が同額であり、 $(\text{最低入札価格} \div \text{入札価格}) = 1.0$ となることから、価格評価点は、配点と同じ100点が算出された。

価格評価点の算出結果は、表 2. 3 のとおりである。

表 2. 3 価格評価点の算出結果

受付記号	Aグループ
価格評価点	100 点

2-5-3. 総合評価点の算出

審査会は、落札者決定基準に基づき、次式により総合評価点を算出した。

$$\text{総合評価点 (300 点満点)} = \text{技術評価点 (200 点満点)} + \text{価格評価点 (100 点満点)}$$

総合評価点の算出結果は、表 2. 4 のとおりである。

Aグループの総合評価点は、168.36点となった。

表 2. 4 総合評価点の算出結果

受付記号	Aグループ
技術評価点	68.36 点
価格評価点	100.00 点
総合評価点	168.36 点

2-6. 選定結果

本事業の総合評価一般競争入札には、入札参加資格を確認した1者から技術提案書類が提出された。

基礎審査では、枚方市上下水道局により入札参加者の技術提案書に記載されている事項が、業務要求水準書に定めた要求水準をすべて満たしていることを確認した。

審査会では、Aグループによるプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、提案内容に対する考え方や疑問点などについて説明及び回答を求めた。その内容もふまえて、技術提案書に記載された提案内容を評価するとともに、価格評価点を加え、総合評価点（168.36点）を算出した。

入札参加者は1者であったが、入札参加者の提案は、グループが保有するセラミック膜技術を採用した実績に基づくものであり、業務要求水準書に定めた要求水準をすべて満たしているとともに、本事業の目的を達成することに対する意欲や熱意を感じさせるものであった。審査会は、総合評価点が妥当であると判断するとともに、別途、枚方市上下水道局が行った価格評価の結果を踏まえ、Aグループを落札候補者として選定した。

3. 選定の総評

3-1. 個別評価の結果

技術提案書における評価内容については、個別評価結果のとおりである。

個別評価結果（1）

大項目	Aグループ
1. 事業全体に関する事項	<p data-bbox="416 519 564 555">【事業計画】</p> <ul data-bbox="416 568 1407 1178" style="list-style-type: none"><li data-bbox="416 568 1407 748">● 基本方針については、既存施設の課題などに対する解決策については不十分であるが、前提条件などを踏まえた事業全体のコンセプトは示されており、安全、安心、持続性、市民満足など枚方市の上位計画を意識したコンセプトが設定されている。<li data-bbox="416 761 1407 940">● 業務実施体制（設計・建設）については、統括責任者の位置づけが一部不明確な部分がある。設計企業の実績、実施体制、配置技術者の資格内容及び、建設企業の実績、実施体制などについては、大きな加点には至るものではないと判断した。<li data-bbox="416 954 1407 1178">● 業務実施体制（運転維持管理）については、業務管理責任者と統括マネージャーとの役割に曖昧な点があるため、事業開始時までには明確にすることが望まれる。運転維持管理企業の膜ろ過施設、砂ろ過施設、高度浄水施設それぞれの運転維持管理業務実績については、大きな加点には至るものではないと判断した。 <p data-bbox="416 1191 624 1227">【事業の安全性】</p> <ul data-bbox="416 1240 1407 1709" style="list-style-type: none"><li data-bbox="416 1240 1407 1375">● 事業の確実性については、企業ごとの担任業務が明確にされており、SPC設立により構成企業経営から分離し各企業の倒産リスクが回避されている。<li data-bbox="416 1388 1407 1523">● 業務リスクへの対応については、企業間のリスクコントロールプランとリスクファイナンスを適用したリスク分担が提案されているものの、リスク分担の事象が抽象的である部分もあり、明確化が望まれる。<li data-bbox="416 1536 1407 1709">● 適切なセルフモニタリングについては、責任者を設置し責任の所在を明確にすると共に、DB期間については委員会の設置により別角度でのチェック体制が示されており評価できる。なお、運転維持管理期間においても適切なモニタリング体制の構築が望まれる。

個別評価結果（2）

大項目	Aグループ
2. 設計・施工に関する事項	<p>【浄水施設設計に関する提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 処理方式については、原水水質に適した浄水処理フローとなっており、実験に基づいた具体性を伴う提案内容であった。 ● 膜ろ過設備及び装置（安定性）については、施設構成及び施設能力の確保策（ろ過流速、予備ユニットなど）や想定する薬品洗浄対象物質及び使用する薬品の考え方、洗浄頻度が合理的な提案内容であった。 ● 膜材質の選定の考え方及び耐用年数や膜ろ過装置の耐震性能は、根拠が不明確な点も見受けられ、大きな加点には至るものではないと判断した。 ● 膜ろ過装置（安全性）や使用する注入設備の構成、注入方法、排水処理施設の能力、容量の考え方については、系列停止時でも計画水量を確保する予備力の保有などが提案されているが、リスクの抽出や再検証が必要であると判断した。 ● 排水処理施設については、一部根拠などが不明確であるものの、高濃度濃縮汚泥による効率的な汚泥処理の提案や想定外の汚泥発生時に既設排水処理施設をバックアップとして使用するなど、安定した排水処理の提案がされている。
	<p>【電気設備設計に関する提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電気計装設備の更新については、配置図で搬出入ルートや保守スペースの確保について提案されている。その他については大きな加点には至るものではないと判断した。 ● 既設機能増設の考え方については、既設設備の役割を理解した上での提案であり、設備毎のコントローラの停止や変更、改造による維持管理の低減が提案されており、具体性があると判断した。
	<p>【土木建築施設設計に関する提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 構造物・管路の構造仕様、配置計画、外観計画、外構計画については、エキスパンションジョイント（可撓継手）や可撓管など構造躯体への影響を低減する内容が提案されている。 ● その他については、脱水設備更新スペースは考慮されているものの、既設浄水場を含めた浄水場全体についての新たな提案は示されておらず、大きな加点には至るものではないと判断した。

個別評価結果（3）

大項目	Aグループ
2. 設計・施工に関する事項	<p>【施工に関する提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施工計画、品質確保、周辺住民への配慮、安全性の確保については、立地条件を理解した施工手順が提案されている。実施時には、作業員教育など品質確保に対する施策や、交通誘導員の具体的な配置など、周辺の状態に即した取り組みが望まれる。 <p>【工事監理に関する提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工事監理計画については、工事監理内容が明確に示されており、実施体制や実施頻度について提案されているものの、品質確保に向けた取り組みなど、工事監理者のさらなる関与が望まれる。
3. 運転・維持管理に関する事項	<p>【運転・維持管理業務の基本方針に関する提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基本方針において、既設第二浄水場の早期休止は効率化に資する提案であるが、施設能力の検証が必要であると判断した。 ● 浄水施設の運転維持管理実績を基に、枚方市の水運用を把握した実施方針が示されているが、抽象的であり、大きな加点には至るものではないと判断した。 <p>【教育・訓練に関する提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人材育成や市職員への技術継承については、多岐に渡る提案であるが、常駐者のみの提案であり、バックアップ人材の育成、職員に対する技術継承効果が確認できる内容が示されておらず、今後の検討が望まれる。 <p>【運転管理業務における提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転管理業務については、原水の変動に併せた運転方法の提案がなされており、具体性が示された提案であると評価する。 ● 浄水施設の切替方法、排水処理施設の運転管理、水質管理については、水需要を考慮し新第一浄水場への水運用へ影響のない段階的な切替手順が示されているが、切替時に想定されるリスクが抽出されていないなど、全体的に見て大きな加点には至るものではないと判断した。 ● 薬品注入設備の運転管理については、実験に基づく定量的な目標値が示されており、具体性のある提案であると評価できる。稼働後においても実験との同様の制御が可能であるかなど、今後の再検証が望まれる。

個別評価結果（４）

大項目	Aグループ
<p>3. 運転・維持管理に関する事項</p>	<p>【保守点検・修繕計画に関する提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 保守点検管理、定期更新業務、場外施設の維持管理については、点検頻度と内容が作業手順により示されており、既設設備の重要性などを踏まえた保守方式の設定および、設備の状態に応じた保守計画の見直しが提案されている。一方で、規格の統一化や部品統一による部品管理の工夫や、ライフサイクルコストの低減に関する配慮などに関しては、大きな加点には至るものではないと判断した。
	<p>【緊急時対応に関する提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緊急時の体制と対応、機器類などの事故対策、災害への対応については、故障時などに迅速に対応できるよう機器メーカーとのバックアップ体制や、事故などの対応の指示系統や体制が示され、技術員の派遣に要する時間が示されているが、一部については、確実性が不明と考えられる部分もあり、大きな加点には至るものではないと判断した。
	<p>【引き継ぎ業務における提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 引継方法については、事業終了時の引継準備委員会設立により円滑な引継ぎを可能とする提案、浄水施設の運転維持管理の経験を活かした業務ごとのマニュアル作成が提案され、有効な内容であり評価できる。
	<p>【設備台帳に関する提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備台帳などについては、クラウド型設備台帳システムによる柔軟に設定・変更対応できる提案がされており、併せて点検データから劣化状態を5段階数値化することで健全度を管理し、維持管理への優先度を決定するなど具体的提案があり評価できる。
<p>4. 地域貢献に関する事項</p>	<p>【地域経済・社会への貢献に関する提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会への貢献や、地域経済への貢献については、ひらかたクリーンリバー活動などが示されているものの、周辺地域という点において十分ではないと判断した。 ● 清掃やボランティア活動などへの参加が示されているが、大きな加点には至るものではないと判断した。
	<p>【見学者対応に関する提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 見学者対応については、維持管理動線との交錯を避けるなど安全性、バリアフリーなど快適性に配慮した提案である。実施時には、外国人対応、具体的な身体の不自由な方への対応などについて配慮が求められる。
<p>5. その他提案</p>	<p>グリーン調達、複数の薬品調達ルート確保、薬品の取扱いに対する注意喚起、定期的な安全教育により従事者の安全意識の向上など複数提案されているが、具体的な記載が少なく、総合的に見て大きな加点には至るものではないと判断した。</p>

評価の総評

Aグループの提案には、枚方市の上位計画を意識したコンセプト（安全、安心、持続性、市民満足度など）が掲げられており、特に事業の安全性では、運転・維持管理におけるSPC設立による構成企業の倒産リスクが回避されていることは、一定の評価ができる。

また、浄水処理フローは、実験に基づいて決定された原水水質に適した具体性を伴う提案であり、ろ過設備及び装置の施設構成、施設能力の確保策、想定する薬品洗浄対象物質、使用する薬品の考え方および洗浄頻度が合理的に示されていた。

さらに、運転管理における原水の変動に併せた運転方法については具体性が示された提案であり、引き継ぎ業務における事業終了時の引継準備委員会設立や浄水施設の運転維持管理の経験を活かした業務ごとのマニュアル作成などは有効な提案であると判断でき、クラウド型設備台帳システム、点検データに基づく健全度管理と維持管理への優先度決定という具体的提案も示された。

なお、本事業の更なる成功を求めるために、以下に示す意見を実施して頂ければ幸いであり、今後において本方式を導入する他事業の参考事例となることを期待するものである。

<付帯意見>

- ・ 緊急時の給水安定性にかかわる緊急時のバックアップ体制（運転管理人員の確保）について、通常時も緊急時も市民に影響を及ぼさないという観点で対応していただきたい。
- ・ SPC 設立時に策定する定款については、事前に枚方市が確認できる場を設けるなど、適正な内容となるよう対応いただきたい。
- ・ 第二浄水場を早期廃止するにあたり、安定した給水及び浄水水質を欠くことのないよう、あらかじめ想定されるリスクを抽出し、再検証を行うなど、適切に対応いただきたい。
- ・ 見学者コースの障害者対応について、合理的配慮の観点からも視覚障害者や聴覚障害者などのさまざまな障害者に気持ちよくご見学いただけるよう、創意工夫を凝らし適切に対応いただきたい。
- ・ 本事業を実施するにあたり、近隣に居住区があることに鑑み、更なる地域貢献の提案など、地域住民などと緊密で良好な協力関係を構築し、円滑に事業を進めていただきたい。
- ・ 工事の安全性の確保を図るとともに、施工時の品質確保に努めていただきたい。
- ・ その他、個別評価結果にも審査会として、今後、より良い事業実施に向けて検討が必要と考えられる事項や、実施時に配慮を求めたい事項を記載しているので、対応について前向きに検討されることを期待する。

最後に、今回の応募にあたり、提案書類作成、プレゼンテーション及びヒアリングについて、入札参加者などが多大な労力と時間を費やし、真摯に取り組んでいただいたことに対して、深く敬意を表しますと共に、心より感謝いたします。